

遠藤征志

源氏物語54帖の響

京の舞 千年の時を繋ぐ

遠藤征志

作曲・ピアノ

辰巳満次郎

宝生流シテ方

篠井英介

語り

角田光代

作家

弦楽四重奏団

演奏

2025年

3月1日(土)

【昼公演】

光君とまぼゆい、光に包まれた女たち
12時開場 / 13時開演

【夜公演】

男君と女君、彼らのすれ違っ心
17時開場 / 18時開演

昼・夜の演目は異なります。尚、「雲隠」昼夜とも演奏

【料金】

〈全席指定〉

S席 12,000円(税込)

A席 10,000円(税込)

【会場】

京都 金剛能楽堂

京都市上京区烏丸通中ノ立売上ル
(市営地下鉄烏丸線今出川駅下車 6番出口より南へ徒歩5分)

チケット
12月20日
販売開始

◆ TEKET <https://teket.jp>

◆ ミュージックエージェンシーリベラ

お問い合わせ
Tel 050-3452-5584
Mail libera@akazai.jp



主催：一般社団法人 **音楽人** KANADERIYO
企画：ミュージックエージェンシーリベラ

衣装デザイナー
時廣真吾
©Yumi Shingu





源氏物語はとほうもなく長い。源氏物語の現代語訳を引き受けて、そのとほうもない長さを身をもって味わった。千年も前に、こんなに長い物語を書いたなんて正気の沙汰とは思えないが、でもそれをやってのけた作家がたしかにいたのである。

その長い長い物語を音楽にする、しかも、一帖ごとに楽曲を作る、ということもまた、現代において正気の沙汰とは思えないが、遠藤征志さんはそれをやってのけた。すべて読みとおすのだったいへんなのに、それをそっくりそのまま、まったくべつの表現として創りあげるといふ、偉業とは思えないことを成した。遠藤さんの創りあげた「源氏物語 五十四帖の響」を聴いていると、ひとつひとつの帖のエッセンスがよみがえる。

正妻、葵の死や、須磨への退居、玉鬘の登場、宇治への舞台の変化など、光景を目にしたわけでもないのに、ありありと目に浮かぶことに驚いた。現代語訳をさせていただいたなかで私が実感したのは、千年前に生きた人たちの、生きていくなかでのよこびや苦しき、ままならない人生への失望と、それでもすがりたい希望、それらは今の私たちとときを超えて共有できるということだった。

遠藤さんの音楽を聴いていると、それを文字どおり体感することができる。これらの音楽も、この先ずっと先の未来まで、色あせず受け継がれていくのだろう。

角田光代

えんどう せいじ 遠藤 征志

新潟市生まれ。4歳よりクラシックピアノをはじめ。22歳よりJAZZ PIANOに傾倒する。玉川大学教育学科卒業と同時にプロ活動開始。

2010年8月、国際コルチャック会議のオープニングで世界の子供達の「愛と平和」のために書き下ろした音楽を演奏。

2015年10月、東北支援「伝えていこうプロジェクト」を立ち上げ、シングル「伝えていこう」をリリース。2017年、東久邇宮文化褒章を受賞。

2021年自身のリーダーBAND、Kiss the CatsやMr.Jazz Quartetの作曲／編曲を務める。また2014-2022年、8年の歳月を掛け、源氏物語54帖全ての帖に登場人物の感情に焦点を当て、計57曲全て作曲。2022年に王子ホール、セルリアンタワー能楽堂にて「源氏物語54帖の響」ソロリサイタルを開催。アレンジ・サウンドプロデューサーとしての作品多数。

繊細で豊かな音色、精神性を感じさせる主張のある演奏は聴衆を魅了して止まない。

2024年、在スペイン日本国大使館主催 遠藤征志「源氏物語54帖の響」マドリッド王立サン・フェルナンド美術アカデミー、マドリッド文化センター、マラガ日本文化週間開会式、他全5公演開催。

才能溢れるオリジナル作品で聴くものを魅了してやまないSEIJI ENDO、ジャンルを超越したPianist・作曲家・編曲家として日本国内はもとより海外でも活躍が期待されている。



たつみ まんじろう 辰巳 満次郎

神戸市生まれ。4歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。18代宗家宝生英雄及び辰巳孝に師事。

代々続く能の家に生まれ、伝統を継承しつつ、普及、新作活動をする。

公益社団法人宝生会理事。一般社団法人日本芸術文化戦略機構(JACSO)名譽理事長。文化庁文化交流使として国内外に能楽を紹介する。

MOA美術館演能委員。重要無形文化財総合指定保持者。枚方市芸術アドバイザー。



きさい えいすけ 篠井 英介

金沢市出身。1984年、男優だけのネオかぶさ劇団「花組芝居」(前身・加納幸和事務所)に参加。看板女方として人気を博す存在となる。1990年退団後は女方のみならず、中性的な役や悪役など、変幻自在の演技派俳優として活躍中。

1992年、第29回ゴールデンアロー賞演劇新人賞受賞。2023年、第58回紀伊国屋演劇賞個人賞受賞。2014年、石川県観光大使に任命。また日本舞踊の宗家藤間流師範名取・藤間勘智英の名を持つ。



かくた みつよ 角田 光代

作家。1967年、神奈川県生まれ。1990年『幸福な遊戯』で海燕新人文学賞を受賞デビュー。

1996年『まどろむ夜のUFO』(幻冬舎)で野間文芸新人賞、2005年『対岸の彼女』(文藝春秋)で直木賞、2007年『八日目の蟬』(中央公論新社)で中央公論文芸賞を受賞。

2024年『源氏物語』現代語訳で読売文学賞受賞。

©Kikuko Usuyama

弦楽四重奏団



わかたび なおこ 若旅 菜穂子 〈第1ヴァイオリン〉

日本大学芸術学部音楽学科卒業。現在、ソロ活動、オーケストラや室内楽での演奏活動、また、歌謡曲や映画、ドラマ音楽のレコーディングやアーティストのサポート演奏、ラジオCMやファッションショーでの演奏を手がけるなど、幅広いジャンルで活動中。



かわい こうた 河合 晃太 〈第2ヴァイオリン〉

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学卒業、研究科修了。

プロオーケストラでの活動を経て、現在クラシック音楽やミュージカルで演奏をする他、ゲーム音楽のコンサートを積極的に開催。他にも作曲・編曲・楽譜の浄書・製本作業等、音楽に関わる様々な活動を行っている。



まつみや まき 松宮 茉希 〈ヴィオラ〉

東京音楽大学器楽科を卒業。オーケストラ、室内楽、レコーディングを中心に演奏活動を行いながら、コンサート企画制作なども精力的に行っている。

コニカミルタブラネタリアARTOKYO「LIVE in the DARK-CLASSIC-」[「Planetarium Concert-宇宙を旅するクラシック-」]の原案、選曲などを担当。



おおいわ なおき 大岩 直季 〈チェロ〉

東京音楽大学器楽科を卒業。フリーランスのチェロリスト。

ソロ活動の他、ピアノトリオ、カルテットを中心とした室内楽で精力的に活動中。国内オーケストラ客演主席奏者などの活動を東京中心に日本各地で展開中。アーティストMV出演・スタジオ録音作品多数。